

学校の様子(9/26～29)

9/26(月)児童集会

今日の児童集会は、給食委員会の「給食を残さずに食べよう集会」が行われました。給食委員会と児童会役員がコラボして、劇を行い、その後クイズをしました。劇では、好き嫌いなく食べることの大切さを伝えていました。イッチーレンジャーが登場して、さらに会場は盛り上がりました。

クイズでは、「市が洞小が市内の小学校の中で一番残菜が多い」ということが分かり、とても驚いていました。来週からの「給食を残さずに食べよう週間」を通して、改めて食に対する意識が高まり、残菜がなくなって健康な市が洞小の子どもたちになることを願っています。



9/26(月)認知症サポーター養成講座(5年)

2限に、市の長寿課の職員2名、キャラバンメイト3名を講師に迎え、認知症サポーター養成講座を体育館で行いました。最初にキャラバンメイトの講師から、「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいる人」という質問に、手を挙げた児童は3名で、3世代で住んでいる家庭が少ないという実態が明らかとなりました。

認知症についての概要について説明を聞いた後、認知症の人に対する対応の仕方についてクイズが出されました。最後の質問タイムでは、「認知症は治らないのですか」等、多くの質問が出されました。

この学習を通して、子どもたちが自分の身の回りのお年寄りだけでなく、地域の方との関わり方についても意識をもてるとよいと感じました。



9/28(水)あいさつ運動

9/26(月)から今日まで、あいさつ委員会主催であいさつ運動が行われました。登校後から8時15分まで、各学年が通るワークスペースに立っているあいさつ委員に元気よく挨拶できたら児童にシールを渡します。そのシールをクラスで貯めて、学級ごとに設定した目標を達成できるかに取り組みました。



最初のうちは、シールをもらうことが目的になりがちでしたが、次第にあいさつの声が大きくなり、自分からあいさつ委員にできる子どもが増え、あいさつの輪が広がってきました。このあいさつ運動を通して、元気なあいさつが自分からできる市が洞小になることを期待しています。



9 / 28 (水) 福祉実践教室 (5年)

本日、5年生が福祉実践教室を行いました。手話体験、点字、視覚障害者ガイドヘルプ、車イス体験、高齢者疑似体験の5つのコースに分かれて体験活動を行いました。講師の先生方から、講義を受けながら体験をして、障害のある方へのサポートの仕方などを学びました。



子どもたちは、この体験活動を通して、みんなで助け合い、共に生きていこうとする意識を高めることができたのではないかと思います。日頃から、この意識をもちながら生活できるようになるよう、これからも様々な機会福祉について考えさせていきたいと思っています。



9 / 28 (水) 後期児童会役員選挙

1限に体育館で、後期児童会役員選挙が行われました。定員を大幅に上回る立候補者が出て、どの役職も選挙になりました。どの候補者も、緊張しながら、「どんな学校にしたいか」「そのためにどんなことをしたいか」について演説しました。

「どんな学校にしたいか」については、「明るく元気な学校」「思いやりのある学校」「笑顔あるれる学校」という内容が多く挙がっていました。「そのためにどんなことをしたいか」については、「あいさつ運動」「スポーツ大会」「アイデアボックス」などの内容が多く、どれもすばらしいものでした。

どの候補者も、自分の考えを伝えようと、一生懸命、熱のこもった演説で、素晴らしいものでした。この演説を聞き、市が洞小学校のことをこれだけ考えている子どもが多くいることをうれしく思いました。



9 / 29 (木) 花壇の苗植え

本日の6限、園芸委員会の子どもが、地域のシニアクラブの方に手伝っていただき、花壇の苗植えを行いました。シニアクラブの方には、6月にも一度手伝っていただき、今回で2回目となります。シニアクラブの方9名のおかげで、だいぶスムーズに苗を植えることができました。



花の苗を植えながら、子どもとシニアクラブの方とが会話をしている様子が見られました。子どもたちにとっては、普段あまり関わることが少ない地域の方とのふれ合いをすることができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

おかげで、とても立派な花壇ができました。これからも、地域の方とふれ合う機会を増やしていきながら、子どもたちが地域に関心をもってくれることを願っています。

